

運輸安全・安心通信

今月のテーマ

夏だからこそその注意点を再確認しましょう

今年の夏は記録的猛暑が続いています。暑い夏だからこそその注意点を今一度確認し、安全運行を行いましょう。暑い時期は、運転者の集中力が途切れてうっかりミスや確認漏れなどにつながり、事故の原因となることが懸念されます。集中力を高めるために呼称運転などを導入したり、車のなかに確認ステッカーなどを貼付して、運転者の安全運転意識を高めましょう。8月特有の危険として、夏休みの子どもたちやレジャー目的でツーリングしている二輪車・自転車と遭遇する機会が増えますし、高速道路では、帰省ドライブの車への注意も怠らないように指導してください。管理面では、運転者が疲労からくる居眠り・覚低走行などに陥らないように、朝礼・点呼での健康観察を徹底してください。



集中力を高めて確認ミスを防ぎましょう

夏場は、暑い屋外とエアコンのきいた車内の温度差からくる疲労感や、強い日差しによる目の疲れ、水分のとりすぎによる夏バテなど体調を崩しやすい時期です。どうしても運転に集中力を欠きがちになりますので、**自分の運転のパフォーマンスが「8割程度に落ちている」と自覚し、いつもより意識的に集中力を高めるように努力することが大切です。**たとえば、**呼称運転を実行**してみてもいいでしょうか？ 普段は何気なく通過している交差点でも「青信号よし」と声を出して接近すると、信号への注意が高まります。また、「高齢者の自転車、注意」と声を出して相手を確認すると、相手が進路変更するかもしれない……といった**危険予測をしやすくなります。**

信号よし！ 高齢者 注意！



夏休みの子どもに注意しよう

夏休みに入ると、普段、登下校時間帯以外はあまり遭遇しなかった子どもの歩行者・自転車の姿をよく見かけるようになります。子どもとの事故防止を意識して運転しましょう。ある事業所では夏の交通事故防止県民運動が始まると、右のようなステッカーを配布して、ダッシュボードに張っています。**子どもの飛出しを意識**することで、運動公園やプール、生活道路などの近くでの交通事故を防止しようという狙いがあります。公園や空き地などの付近では「子どもがボール等を追いかけて出てく」危険を予測しましょう。

子ども飛出しに注意！



高速道路における停止車両に注意

高速道路上での事故・故障で、本線車道や路側帯に降車した人が、後続車にはねられるといった事故が依然として多発しています。8月はレジャーや帰省などで高速道路を走行する車が増えますので、運転者に対して

「**高速道路でも歩行者のいる可能性があること**」

「**停止車両の近くにいる乗員に注意すること**」

などを再度、指導しておきましょう。

また、自社の運転者が本線車道で故障・事故などのトラブルに見舞われた場合を想定し、次の3点も確認しておきます。

- ・**発炎筒、停止表示器材**の搭載をチェック(車載場所を運転席に明記)
- ・トラブル発生時は後続車に注意して速やかに路肩側から降車し、ガードレールの外など、**安全な場所に避難**する
- ・携帯電話で**道路緊急ダイヤル(# 9910)**に連絡するか、本線上の非常電話で道路管理者に通報する

発行者

上杉行政書士事務所 代表 上杉 麻美
神奈川県横浜市旭区左近山16-1 1-30-806
TEL&FAX 045-442-3592

行政書士法人シグマ 代表社員 阪本 浩毅
東京都中央区銀座一丁目13番1号
ヒューリック銀座一丁目ビル4階
TEL 03-6868-7256 FAX 03-6800-3604

ご用命・ご相談がございましたらお気軽にお問合せ下さい

一般社団法人 運輸安全総研トラバス
Mail tb@trubus.org ホームページ <http://trubus.org/>

トラバス